

---

---

# 日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

## 2010年度 NO.2

### 目次

- ・ 第11回大会を開催して
- ・ 第12回大会を開催するにあたって
- ・ 理事会報告
- ・ 2010年度総会報告
- ・ 会則改正について
- ・ 2009年度事業報告及び決算報告
- ・ 2010年度事業計画及び予算
- ・ 年報編集委員会報告
- ・ 広報委員会報告
- ・ 十周年記念事業WG報告
- ・ 2010年度高良記念研究助成対象者決定
- ・ 支部活動報告（関西支部、九州支部、北海道支部）
- ・ 関東支部設立準備発起人会・研究会報告
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 会員情報

---

### 第11回大会を開催して（終了報告とお礼）

第11回大会は、去る10月2日(土)～3日(日)、長崎ハウステンボスで開催いたしました。大会初の九州での開催、しかもテーマパークを会場として2日間のプログラムでの実施でしたが、全国各地からの会員89名に加えて、非会員の方々にもお越しいただき、延べ103名のご参加をいただきました。地方での開催のために参加者数について心配をしていましたが、積極的なご参加はもとより、広報・宣伝においても会員各位に多大のご協力をいただき、何とか盛会のうちに2日間の日程を終了することが出来ました。

「地域の人材育成とインターンシップ」という本大会テーマの下に、1日目の基調講演に長崎国際大学の潮谷義子学長が登壇し、長年、福祉や地方行政に携わってきた者の視点から、大学におけるキャリア支援は、単なる就職指導に留まらず、若者に将来への「覚悟」の形成を促すプロセスでなければならないこと、その中でインターンシップは、己を知り、また、仕事の魅力に気づくことを通して、自分が何をしたいのか、何が出来るのかを考える貴重な経験であるとの期待を語りました。

続くシンポジウム「高等教育と地域の人材育成—地域連携のインターンシップの現状と課題」では、北島正一氏（電通九州）、浜民夫氏（若者自立支援長崎ネットワーク）、米倉幸生氏（長崎純心大学）に、それぞれの経験と立場から多様な若者を地域で育てることの具体を述べていただきました。その後、コメンテーターやフロアを交えて、若者・学生の「気づき」と「自立」を促進するために地域の資源をどのように利用するか、さらには、地域と大学などの連携による「地域活性化」の方途へと議論は白熱いたしました。このインターンシップの現状の枠を超えた広い議論は、インターンシップの今後の可能性を示唆したものであったと思います。

研究発表は、2日に河野会員による高良記念研究助成報告と、翌3日午前には、3会場2セッションで計15件の発表が行われました。各会場で活発な質疑応答がありました。

また、2日夕刻に園内のホテルでの懇親会にもたくさ

んの会員の参加があり、情報交換をしながら、地元長崎の食材を活かした料理とハウステンボスの夜をお楽しみいただきました。会場のあちらこちらで、会員相互の親睦の深まりや新しい出会いが見られました。

さて、大会2日間を通して、あいにく雨模様のぐずぐずいた天気ではありましたが、私共、現地スタッフ一同、ホスピタリティマインドを持って元気に対応させていただきました。何分、不慣れなために、行き届かぬ点が多々あったかとは存じますが、参加の皆様方のご協力とご支援を支えに何とか重責を果たすことが出来ました。実行委員会メンバーの九州地区の理事各位をはじめ、ご支援いただきました会員の方々に、委員長として心よりお礼申し上げます。長崎へお越しいただきありがとうございます。

それでは2011年、第12回大会の開催地、鳥取でまたお会いいたしましょう。

（第11回大会実行委員長 安部 恵美子・長崎短期大学）

### 第12回大会を開催するにあたって

それは第11回大会終了からしばらくしたある秋の日、吉本会長直々のお電話からはじまりました。思いがけない次回大会開催校の打診です。不肖私、鳥取大学への着任半年で自らの仕事もままならないなか、あまりに大きなお話にしばしたじろぎでしたが、これはもう腹をくくって務めさせていただくしかない覚悟を決め、このたび謹んで第12回大会を鳥取大学にてお引き受けした次第です。本学会がこれまで積み重ねてきた研究の成果をしっかりと継承し、インターンシップをめぐる学術と実践のさらなる持続的発展に資する大会とすべく、テーマおよびプログラムを構想してまいる所存です。会員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

第12回大会は第9回大会以来3年ぶりに9月開催とし、日程は先般の第11回大会を踏襲した2011年9月17日（土）・18日（日）の2日間を予定しています。なお会場の鳥取大学・鳥取キャンパスは、鳥取空港からタクシーでワンメーター強、JR鳥取大学前駅とは目と鼻の先と

いうように、地方の辺鄙な土地ながら幸いにして公共交通機関とのアクセスには恵まれています。おおむね富士山より東にお住まいの先生には羽田空港から航空機で、西にお住まいの先生には JR でお越しいただければと思います。

鳥取大学が立地する鳥取県は、人口 60 万人に満たない全国人口最少県ですが、最近では県出身の漫画家水木しげる氏夫妻の半生をモデルにしたドラマ『ゲゲゲの女房』のヒットや、改革派として鳴らした前鳥取県知事の総務大臣就任など、人口占有率 0.5% という小県にしては全国的な話題を発信してなかなか健闘しているじゃないか、などと甘い「自己評価」をしています。

ところで大会終了翌日は祝日（敬老の日）にあたり、秋の三連休期間においでいただくかたちとなります。もしお時間が許すようでしたら、大会終了後も引き続き鳥取にご滞在いただき、山陰ならではの豊かな自然や温泉・味覚等を満喫していただければ幸いです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

（第 12 回大会実行委員長 長尾 博暢・鳥取大学）

## 理事会報告

### 2010 年度第 1 回理事会（6/19@中村学園大学）

#### (1)入退会申請者について

入退会の申請者について、すべて承認された。

#### (2)2009 年度(平成 21 年度)決算案及び監査報告について

2009 年度決算案及び監査報告について、原案どおり承認された。

#### (3)2010 年度（平成 22 年度）予算案について

2010 年度予算案について、原案どおり承認された。

#### (4)第 11 回全国大会の運営について

安部大会実行委員長より、第 11 回大会の運営について説明がなされ、了承された。

#### (5)高良記念研究助成審査委員会について

太田委員長より、4 名の委員の再任、1 名の委員の新規就任について提案があり了承された。また、委員の互選により太田委員が委員長に選出されたことが報告された。

#### (6)『インターンシップ研究年報』第 14 号研究論文投稿規程について

安孫子年報編集委員会委員長より投稿規程変更に関する提案があり、審議の意見を踏まえ修正案が承認された。

### 2010 年度第 2 回理事会（8/28@目白大学）

#### (1)入退会申請者について

入退会の申請者について、すべて承認された。

#### (2)第 11 回全国大会について

安部大会実行委員長より、第 11 回全国大会の準備状況が報告された。

#### (3)高良記念研究助成について

太田委員長より、高良記念助成について、同審査委員会の選考結果を踏まえ、2 名を助成対象者としていた旨の提

案があり、承認された。

#### (4)会則の改正について

事務局長より会則の改正についての提案があり、審議の結果、次回の理事会で会則修正案を提示し、承認後、総会に諮ることについて了承された。

#### (5)その他

会長より、WACE (The World Association for Cooperative Education) に団体会員としての加盟について提案があり、承認された。

### 2010 年度第 3 回理事会（10/2@ハウステンボス）

#### (1)入退会申請者について

入退会の申請者について、すべて承認された。

#### (2)会則の改正等について

会長及び事務局長より、会則修正案の提案があり承認され、総会に諮ることについて了承された。

#### (3)総会議題について

事務局長より、総会の議題についての提案があり、了承された。

（事務局）

## 2010 年度総会報告

2010 年度総会が、2010 年 10 月 2 日（土）ハウステンボスにおいて開催され、以下の報告・審議が行われた。

#### (1)2009 年度事業報告

原案どおり承認された。

#### (2)2009 年度決算報告及び監査報告

事務局長より決算報告後、牛山監事より監査報告があり、承認された（詳細は「2009 年度事業報告及び決算報告」を参照）。

#### (3)会則改正について

会長及び事務局長より会則改正の提案があり、承認された（詳細は「会則改正について」参照）。

#### (4)2010 年度事業計画及び予算について

事務局長より提案があり、原案どおり承認された（詳細は「2010 年度事業計画及び予算」参照）。

#### (5)高良記念研究助成について

2010 年度採択者の田崎悦子会員（北海道大学大学院）ならびに酒井佳世会員（久留米大学）への研究助成金及び賞状の授与が行われた。

（事務局）

## 会則改正について

「理事会・総会報告」で報告いたしましたとおり、総会にて下記のとおり会則が改正されました。

（事務局）

現 行
<p>(目的) 第2条 本会は、インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及、社会に対する啓蒙、提言、これに携わる産学の情報連絡、ならびに会員相互の研究上の連絡・交流に寄与することを目的とする。</p> <p>(会費) 第7条 (略) 2. 会員は毎年5月末までに当事業年度の年会費を納入しなければならない。</p> <p>(部会及び委員会) 第21条 本会は、第3条に規定する事業の円滑なる運営を図るため、必要な部会及び委員会を置くことができる。 2. 部会及び委員会の種類、構成及び運営等必要な事項は別途理事会で定める。</p> <p>第24条 本会則は常任理事会、総会を経て改正する。</p> <p>付則 (経過措置) 2010年度事業年度、会計年度は、平成2010年4月1日に始まり、平成2011年6月30日に終わる。</p>

改正案
<p>(目的) 第2条 本会は、インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及、社会に対する啓蒙・提言、これに携わる産学の情報連絡、ならびに会員相互の研究上の連絡・交流に寄与することを目的とする。</p> <p>(会費) 第7条 (略) 2. 会員は毎年9月末までに当事業年度の年会費を納入しなければならない。</p> <p>(支部及び委員会) 第21条 本会は、第3条に規定する事業の円滑なる運営を図るため、必要な支部及び委員会を置くことができる。 2. 支部及び委員会の種類、構成及び運営等必要な事項は別途理事会で定める。</p> <p>(改正) 第24条 本会則は常任理事会、総会を経て改正する。</p> <p>付則 (経過措置) 2010年事業年度及び会計年度は、平成22年4月1日に始まり、平成23年6月30日に終わる。</p>

## 2. 事業の概要

2009年10月10日 第10回大会開催

会場：嘉悦大学、参加者 147名

2009年5月 Newsletter No.1 発行

2009年7月 年報12号発行

2009年11月 Newsletter No.2 発行

## 3. 研究会

2009年6月27日 第1回研究会・九州支部第4回研究会 (九州大学西新プラザ)

2009年12月5日 第2回研究会・関西支部第5回研究会 (大阪経済大学大隅キャンパス)

2010年3月6日 第3回研究会・北海道支部設立記念集会 (北海道大学)

## 4. 総会

2009年10月10日 (嘉悦大学)

## 5. 理事会

第1回理事会 2009年6月27日 (九州大学西新プラザ)

第2回理事会 2009年8月29日 (筑波大学東京キャンパス)

第3回理事会 2009年10月9日 (東京国際大学早稲田キャンパス)

第4回理事会 2009年12月6日 (立命館大学衣笠キャンパス)

第5回理事会 2010年3月7日 (北海道大学)

## 6. 各支部活動

### (1) 関西支部

2009年12月5日 第5回研究会 (大阪経済大学大隅キャンパス)

### (2) 九州支部

2009年6月27日 第4回研究会 (九州大学西新プラザ)

2009年11月13日 第5回研究会 (電気ビル)

### (3) 北海道支部

2010年3月6日 北海道支部設立記念集会 (北海道大学)

### (4) 関東支部

2010年3月27日 関東支部設立準備第1回研究会 (東京経済大学国分寺キャンパス)

## 7. その他

(1) 「第3回 高良記念研究助成」実施

(2) 会則の改正

・会計年度 (4～3月→7月～6月)

(3) 北海道支部の設立 (2010年3月6日)

(4) 十周年記念事業の実施

・「学会創立10周年記念フォーラム」の開催

(2009年10月9日、東京国際大学早稲田キャンパス)

・学会員へのアンケート調査の実施

(5) 理事選挙、会長選挙の実施

(6) 2009-2010年度役員及び委員会組織の決定

(7) 事務局の移転 (九州大学→北海道大学)

(8) 関西支部 設立5周年記念報告書の発行

## 2009年度事業報告及び決算報告

「理事会・総会報告」で報告いたしましたとおり、2009学会年度事業報告及び決算報告について、総会にて下記のとおり承認されました。

### 2009年度 事業報告

#### 1. 2009年度事業期間

2009年4月1日～2010年3月31日

(9)学会後援・協賛事業 2件  
 ・社団法人東京都専修学校各種学校協会「第16回専門  
 学校教育研究会」に後援(2009年3月5日 スクワ  
 ール麹町にて)

・高等教育資格研究会「非大学型高等教育と学位・資  
 格制度に関する国際会議」に協賛(2009年3月19、  
 20日 九州大学 西新プラザにて)

(事務局)

## 2009(平成21)年度 日本インターンシップ学会 収支計算書 (2009年4月1日～2010年3月31日)

### 【一般会計】

(単位:円)

支出の部	2009年度予算(a)	2009年度決算(b)	予実差異(b-a)	収入の部	2009年度予算(a)	2009年度決算(b)	予実差異(b-a)
研究会費用	400,000	394,329	-5,671	会費収入	1,680,000	1,840,000	160,000
(関東支部・準)		53,366	53,366	(個人会員)	880,000	1,020,000	140,000
(関西支部)		140,963	140,963	(学生会員)	60,000	60,000	0
(九州支部)		100,000	100,000	(法人・団体会員)	740,000	760,000	20,000
(北海道支部)		100,000	100,000				
大会開催費補助	300,000	300,000	0	研究会収入	6,000	0	-6,000
年報作成費	450,000	328,830	-121,170	書籍・年報等販売収入	12,000	7,000	-5,000
記念事業費	200,000	68,977	-131,023				
名簿作成費	0	0	0	その他	400	317	-83
通信費	150,000	94,928	-55,072	(受取利息)	400	317	-83
HP修正・改善費	100,000	8,000	-92,000	(雑収入)	0	0	0
その他運営費	400,000	310,089	-89,911	大会開催費余剰金	0	181,154	181,154
役員選挙費	100,000	94,469	-5,531	関西支部余剰金	0	0	0
				九州支部余剰金	0	28,363	28,363
				北海道支部余剰金	0	67,040	67,040
次年度繰越金	2,277,218	3,203,070	925,852	前年度繰越金	2,678,818	2,678,818	0
合計	4,377,218	4,802,692	425,474	合計	4,377,218	4,802,692	425,474

### 【特別会計(高良記念研究助成)】

(単位:円)

支出の部	2009年度予算(a)	2009年度決算(b)	予実差異(b-a)	収入の部	2009年度予算(a)	2009年度決算(b)	予実差異(b-a)
2009年度研究助成金(1件採択)	200,000	95,000	-105,000	受取利息	500	252	-248
振込手数料	1,500	525	-975	余剰金(真鍋氏)	0	31,840	31,840
次年度繰越金	599,929	737,496	137,567	前年度繰越金	800,929	800,929	0
合計	801,429	833,021	31,592	合計	801,429	833,021	31,592

## 2009(平成21)年度 貸借対照表兼財産目録(2010.3.31現在)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	3,940,566	流動負債	0
手持現金	45,451		
預金	3,895,115	固定負債	0
北洋銀行(一般会計)	2,707,005		
北洋銀行(特別会計)	737,496	純資産	
郵便振替口座	450,614	剰余金	3,940,566
		(一般会計繰越金)	(3,203,070)
固定資産	0	(特別会計繰越金)	(737,496)
資産合計	3,940,566	負債・純資産合計	3,940,566

(注)本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、  
 財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

## 2010 年度事業計画及び予算

「理事会・総会報告」で報告いたしましたとおり、2010 学会年度事業計画ならびに予算について、総会にて下記のとおり承認されました。

### 2010 年度 年間事業計画

#### 1. 2010 年度事業期間

2010 年 4 月 1 日～2011 年 6 月 30 日

#### 2. 事業の概要

- (1)第 11 回大会の開催（会場：ハウステンボス）  
2010 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）
- (2)研究会の開催（年 3 回）
- (3)年報 13 号の刊行
- (4)News Letter の発行（年 2 回）
- (5)「第 4 回 高良記念研究助成」実施
- (6)関東支部 等の設立
- (7)十周年記念事業の実施（続き）

（事務局）

## 2010(平成22)年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算

### 一般会計【収入の部】

（単位：円）

大科目	中科目	2010年度予算額	前年度予算額	2009年度実績	2008年度実績	2007年度実績	予算増減	備考
会費収入	小計	1,687,500	1,680,000	1,840,000	2,230,000	2,065,000	7,500	
	個人会員(10,000円)	922,500	880,000	1,020,000	1,130,000	1,170,000	42,500	
	学生会員(5,000円)	65,000	60,000	60,000	60,000	55,000	5,000	
	法人・団体会員(20,000円)	700,000	740,000	760,000	1,040,000	840,000	-40,000	
事業収入	小計	7,000	18,000	7,000	29,500	30,000	-11,000	
	研究会収入	0	6,000	0	9,000	9,000	-6,000	
	書籍・年報等販売収入	7,000	12,000	7,000	20,500	21,000	-5,000	
雑収入	小計	300	400	276,874	148,407	133,424	-100	
	受取利息	300	400	317	354	1,197	-100	
	その他の収入	0	0	0	0	160	0	
	大会開催費余剰金	0	0	181,154	75,040	82,067	0	
	関西支部余剰金	0	0	0	37,380	50,000	0	
	九州支部余剰金	0	0	28,363	35,633	0	0	
	北海道支部余剰金	0	0	67,040	0	0	0	
当期収入合計(A)		1,694,800	1,698,400	2,123,874	2,407,907	2,228,424	-3,600	
前期繰越収支差額		3,203,070	2,678,818	2,678,818	1,740,109	664,877	524,252	
収入合計(B)		4,897,870	4,377,218	4,802,692	4,148,016	2,893,301	520,652	

### 一般会計【支出の部】

大科目	中科目	2010年度予算額	前年度予算額	2009年度実績	2008年度実績	2007年度実績	予算増減	備考
事業費	小計	1,450,000	1,450,000	1,186,605	1,057,888	787,256	0	
	研究会開催費	400,000	400,000	394,329	219,149	144,406	0	
	研究会費用(関東)			53,366	19,149	44,406		
	研究会費用(関西)			140,963	100,000	100,000		
	研究会費用(九州)			100,000	100,000			
	研究会費用(北海道)			100,000				
	大会開催費	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	0	
	年報作成費	450,000	450,000	328,830	354,710	278,930	0	
	記念事業費	150,000	200,000	68,977	88,188	0	50,000	
	役員選挙費	0	100,000	94,469	0	0	100,000	
名簿作成費	150,000	0	0	95,841	63,920	-150,000		
事務管理費	小計	760,000	650,000	413,017	411,310	365,936	-110,000	
	通信費(郵送料等)	180,000	150,000	94,928	69,610	97,660	-30,000	
	HP修正・改善費	100,000	100,000	8,000	14,000	89,700	0	
	その他運営費	480,000	400,000	310,089	327,700	178,576	-80,000	
当期支出小計		2,210,000	2,100,000	1,599,622	1,469,198	1,153,192	-110,000	
予備費	予備費	2,687,870	2,277,218	3,203,070	2,678,818	1,740,109	-410,652	
当期支出合計(C)		4,897,870	4,377,218	4,802,692	4,148,016	2,893,301	-520,652	
当期収支差額(A)-(C)		-3,203,070	-2,678,818	-2,678,818	-1,740,109	-664,877	524,252	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	0	0	0	

## 2010(平成22)年度 日本インターンシップ学会 特別会計 予算

### 特別会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2010年度予算額	前年度予算額	2009年度実績	2008年度実績	予算増減	備考
寄付金		0	0	0	200,000	0	
積立金	小計	0	0	0	0	0	
						0	
						0	
雑収入	小計	200	500	32,092	1,199	300	
	受取利息	200	500	252	1,199	300	
	その他の収入	0	0	31,840	0	0	
当期収入合計(A)		200	500	32,092	201,199	300	
前期繰越収支差額		737,496	800,929	800,929	799,940	63,433	
収入合計(B)		737,696	801,429	833,021	1,001,139	63,733	

### 特別会計【支出の部】

大科目	中科目	2010年度予算額	前年度予算額	2009年度実績	2008年度実績	予算増減	備考
高良記念研究助成金		200,000	200,000	95,000	200,000	0	
事務管理費	小計	1,500	1,500	525	210	0	
	振込手数料	1,500	1,500	525	210	0	
	その他	0	0	0	0	0	
予備費	予備費	536,196	599,929	737,496	800,929	63,733	
当期支出合計(C)		737,696	801,429	833,021	1,001,139	63,733	
当期収支差額(A)-(C)		-737,496	-800,929	-800,929	-799,940	-63,433	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	0	0	

## 年報編集委員会報告

### 研究年報第13号の発刊について

大変遅くなりましたが、研究年報第13号を9月に発刊致しました。

今回の年報には、従来からの論文(3編)、研究ノート(1編)と学会大会のほか、新設された「資料」(実践的開発的な取組事例などを積極的に紹介するために設けた範疇)3編が掲載されております。

大会での報告としましては、基調講演2編と特別講演1編、さらにシンポジウム「インターンシップの10年を振り返る—将来を見据えて—」の議論を掲載しております。

(年報編集委員会委員長 安孫子 勇一)

## 広報委員会報告

### 学会 Web サイトへの記事の掲載手順

学会 Web サイトの更新・管理作業をより迅速化するために、記事の掲載・更新依頼の受付窓口を [jsi.prc@gmail.com](mailto:jsi.prc@gmail.com) に一本化しました。今後はこのアドレスに依頼内容等、必要事項をご連絡頂けますようお願い致します。

なお、研究会・大会の実施報告につきましては、広報委員会より「原稿依頼フォーム」をお送り致します。こちらにご記入頂き、返送頂けますようご協力をお願い致します。

### Web サーバーの変更について

これまで、本学会の Web ページは国立情報学研究所の「学協会情報発信サービスにおけるホームページ構築・提供支援」を利用してきました。このサービスが平成23年度末で終了することになり、広報委員会では現在、代替サーバーの選定作業を進めております。今後、今年度末までに代替サーバーを決定し、平成23年度8月に新サーバーでのサービスの提供開始、10月に旧サーバー上のサイト閉鎖を目指し

て作業を進めていく予定です。

会員の皆様には関連情報を Web サイト、ニュースレターなどを通して適宜お伝え致します。

(広報委員会委員長 石田 宏之)

## 十周年記念事業 WG 報告

十周年記念事業 WG におきましては、目下、「十周年記録集」編集の最終段階の作業に取り掛かっております。今般の記録集には、2010年3月末までにわが国で発行・発表されましたインターンシップ関連図書並びに論文を記録として掲載することにしております。

つきましては、皆様のお手元に関連図書などございましたら十周年記念事業事務局 ([tanakant@n01.itscom.net](mailto:tanakant@n01.itscom.net)) までお知らせ願えれば幸いです。当方の既存資料と重複がありましたら適宜編纂して参りますので遠慮なく情報をお寄せください。よろしく願いいたします。

(十周年記念事業 WG 委員長 田中 宣秀)

## 2010年度 高良記念研究助成対象者決定

本学会では、インターンシップに係る研究や実践活動の発展、普及のため、2007年度からこの助成制度を設けて、会員(個人・学生・法人)に対して、優れた研究課題への助成を行っています。2009年度の第3回研究助成を受けた1名の研究者、河野志徳氏(早稲田大学大学院教育学研究科 博士後期課程)は、2010年10月に開催された第11回大会(長崎短期大学)において「文系大学生のインターンシップが大学の学びに与える効果—早稲田大学の事例として—」と題する成果を発表しました。さらに研究年報に投稿する予定です。

2010年度の第4回研究助成には、3件の応募があり、審査委員会による審査を経て、次の2名に対して研究助成を行うことを理事会において決定しまし

た。(順不同、敬称略)

- ・田崎悦子会員(北海道大学大学院教育学院・修士課程2年)「インターンシップが職業選択、職業能力に与える影響と効果～社会人のふりかえりによる視点～」助成額100千円、単独研究
- ・酒井佳世会員(久留米大学 就職・キャリア支援課)「大学における教育プログラムとしての実習・ボランティア・アルバイトとの比較研究」助成額100千円、単独研究

研究期間は、2011年9月末までの1年間で、2011年の大会で成果を研究発表することになります。また、その1ヵ月後までに「研究終了報告書」と「研究経費使用報告書」を学会事務局に提出することになります。

2011年度には、第5回研究助成を募集します。募集期間は、2010年度の例では、4月～6月中旬頃までとなっていました。なお、「物品費+謝金の合計が全体金額の1/2まで」という点を、ぜひ守るようにお願いします。

(高良記念研究助成審査委員長 太田 和男)

## 支部活動報告

### 関西支部

2005年夏に産声をあげた本学会関西支部は、おかげさまで今夏、設立5周年を迎えることができました。まずは本学会員の皆さま方の常日頃のご支援、ご協力に支部を代表し、心から御礼を申し上げます。

つきましては、2010年12月10日、設立5周年記念フォーラムを大阪企業家ミュージアムで開催しますので、学会員以外の方々にも広く呼びかけいただき、ご参加ください。同フォーラムの概要は、本学会ホームページに掲載してありますので、ご参照ください。ここでは、開催に向けての関西支部の基本的な考えを紹介させていただきます。

すでにご案内の通り、支部では過去5年間にわたり、学校種別のインターンシップ取組先駆事例発表を行ってきました(その概要は昨年度末に『設立5周年記念報告書』にまとめ、会員の皆さまに配布いたしました)。そしてこの5年間に、インターンシップはほぼすべての高等教育機関に普及するまでになりました。

一つの節目に立ち、支部としては改めてインターンシップの原点に立ち返り、関わる学生、受入者(産業界)、送り手(教育界)の三者がともに満足する秀逸なインターンシップの取組み事例発表を集めました。それが坂上義明大阪商工会議所人材開発部長の基調講演を受けての4発表です。商工会議所やコンソーシアムといった経済団体や非営利組織が積極的に関与する取組みが紹介されるほか、独自の姿勢で即戦力や高度人材を育成する長期インターンシップの取組みで、何が三者を充足させているのか、フォーラムではぜひ、その共通項を見出したいと考えております。

開催にあたっては、大阪企業家ミュージアムの全面的なご協力の下、会場である会議室をご提供いた

だいたばかりか、フォーラムに先立ち同ミュージアムの見学会も設けられ、解説員を特別に派遣していただいております。

奮って、ご参加ください。

(関西支部支部長 加藤 敏明)

### 九州支部

九州支部では、2010年度第1回研究会を6月19日(土)に中村学園大学にて開催致しました。テーマは『教育プログラムとしてのインターンシップ～振り返りを通して体験から経験へ～』。3名からの事例報告や研究発表がなされ、インターンシップ体験後の効果的な振り返り手法、インターンシップの実施時期等について活発な議論が交わされました。

第2回研究会は、2011年2月中旬～3月にかけて開催を計画しています。テーマは海外インターンシップを取り上げてみたいと考えています。詳細につきましては、後日学会ホームページにて告知させていただきます。

(九州支部副支部長 真鍋 和博)

### 北海道支部

北海道支部では、2011年2月下旬に2010年度第1回研究会の開催を計画しています。インターンシップに参加した社会人を中心にインターンシップの効果を取り上げる予定です。

また、2011年6月に第2回研究会の開催を計画しています。詳細につきましては、後日、学会ホームページ等でご案内させていただきます。

(北海道支部支部長 亀野 淳)

## 関東支部設立準備発起人会・研究会報告

### 関東支部設立準備発起人会

関東支部設立発起人会が2010年6月12日、中央大学駿河台記念館に、発起人31名中19名の参加を得て、開催されました。同会では、支部設立目的が承認され、同時に発起人代表、事務局、企画グループの各メンバーが決定されました。今後の予定として、2010年8月の第2回研究会開催に続き、2011年3月に関東支部設立を予定することが承認されました。

### 関東支部設立準備第2回研究会

2010年8月に関東支部設立準備第2回研究会は、「職業教育とインターンシップ」のテーマのもと、目白大学新宿キャンパスで開催されました。安彦忠彦氏(早稲田大学教授)による格調高い基調講演に続き、小林隆江氏(シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル)、島田薫会員(聖徳大学教授)、奥田美都子会員(職業能力開発総合大学校講師)、横山修一会員(工学院大学教授・日本インターンシップ推進協会会長)の各氏から意欲的な発表が行われました。基調講演の中で、安彦忠彦氏は、「大学でのキャリア教育の独自性は『職業を相対化する態度の確立』である!社会人として最も大切なことは、『社会的信

用』である！」ことなどを指摘された。

65名の出席者からは、それぞれの発表に対し、質問が相次ぎ盛会でした。

#### 関東支部設立記念第3回研究会

関東支部設立記念第3回研究会は、2011年3月に工学院大学新宿キャンパスにおいて、「海外インターンシップ(仮テーマ)」を統一テーマとして開催される予定となっています。

(関東支部発起人代表 太田 和男)

### 事務局からのお知らせ

#### 会員情報変更の連絡について

所属・住所等が変わりましたら、速やかに事務局宛お届けください。連絡先が不明になりますと、年報、ニュースレター、大会案内などの会員サービスが受けられなくなりますのでご注意ください。

また、皆様から返信された「会員情報調査票」をもとに、来年1月頃、会員名簿の作成を予定しております。名簿掲載事項や名簿掲載の可否について変更がある方は、お早めに事務局まで連絡願います。

#### 会費納入のお願い

2010年度会費納入を受け付けております。会費未納の方は、今回お送りいたしました郵便振替用紙かゆうちょ銀行からの振込(ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は手数料が無料です)で、下記振込先までお送り下さいますようお願いいたします。銀行振込でも受け付けております。

#### 会費納入先

##### 【郵便振替】

口座番号 02750-1-108419

加入者名 日本インターンシップ学会

##### 【ゆうちょ銀行】

店番 279 (当座) 108419

##### 【銀行振込】

北洋銀行 北七条支店(普通) 3927955

受取人名 日本インターンシップ学会

(電信振込の場合は、「ニホンインターンシップガッカイ」と入力下さい。)

#### 理事選挙の予定について

2011~2012年度理事選出のための選挙を2011年4~5月に実施する予定です。同選挙における選挙権及び被選挙権は会費納入済みであることが条件となっておりますので、未納入の会員は至急納入願います。同選挙の詳細は、今後、ホームページ、郵送等で案内をいたしますので、よろしくお願いたします。

#### 訃報

第11回大会での研究発表直後に倒れ、救急搬送され治療を続けていた星野 徳明 氏(長崎短期大学・法人会員)が、11月18日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

#### 日本インターンシップ学会 News Letter 2010 No.2

平成22年11月25日発行

発行 日本インターンシップ学会 会長 吉本 圭一

編集 日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 石田 宏之

印刷 日本インターンシップ学会事務局 事務局長 亀野 淳

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 キャリア教育支援室内

(10/1から組織改正により名称変更になりました)

E-mail jsi-sec@high.hokudai.ac.jp 電話&FAX 011-706-5147

Website <http://www.soc.nii.ac.jp/jsi/>